

人材確保、これからのカギとは

先日、ちょっと驚くような、そしてとても考えさせられるご報告をいただいた。ワクワク系マーケティング実践会(このコラムでお伝えしている商売の理論と実践手法を実践する企業とビジネスパーソンの会)の会員企業、包装紙やリボンなどのラッピンググッズから包装資材、農業資材など幅広く包装資材全般を扱い、ラッピングのお店も営む会社の経営者からだ。

彼女からの報告とは、退社する社員についてが、ひとつ。そして、来春入社する方についてが、ひとつ。まずは退社する社員だが、近年ワクワク系を共に学び、現場での実践も慣れてきて、成果も出てきた社員のことだ。遠方に引っ越すとのことで、大変残念ながらこのたび退社となった。その折、その社員がこう言ったという。

「今まで自分に自信がなかったし、考え方もマイナス思考だったけど、自分でもやればできるんだ」ということを感じることができた。この会社に入って社長と出会ったことが、自分の人生のターニングポイントになった。ワクワク系を勉強して、次に探す就職先を決める会社の基準が変わった」

もうひとつは、来春入社予定の方についてだ。その方は地元の大学生だが、こう言っては何だが、この超売り手市場と言われる昨今の人材確保の環境下、地方の中小の包装資材の会社が大卒の新卒を探ることはかなり難しいだろう。それが早々と決まり、現在早々とバイトとして関わり、ワクワク系を学ぶことにもワクワクしているとのことだが、そこに至る経緯に私は驚いた。

彼女とこの方との出会いは、ワクワク系の説明会だった。私共が各地で開催している私の有料の講演会だが、そこに彼女がサポーターとして来てくれていた。その会場で聴講していたのがこの方だった。そして本人によると、サポーターとして動いている彼女を見て「こんなに楽しそうに仕事をする人がいるのか?こんなに自分に自分も仕事をしてみたい!」と感じ、その後お店に来店、確信に至り、卒業後正社員になることに相成ったということだ。

これからの日本社会、働く人の確保は企業にとって重大な問題だ。すでに人手不足に悩む業界は少なくなく、今後一層深刻な課題となるだろう。そんなとき、企業はどういう道を歩めばいいか。働く側はどういう会社、環境を望んでいるのだろうか。その答えのひとつがこの貴重な報告のなかにある。そしてそれは、仕事とは何なのか、働くとはどういうことなのかという、深遠な問いへの答えでもあるのである。